

## 春野菜の豊作は、良苗確保と土づくりから

暖かくなってきました。春夏野菜の植え付け時期がやってきました。豊作の条件は良苗の確保と土づくりです。栽培を始める前にこれらのポイントをあらためて理解してみましょう。

### 1 苗づくりと苗の選び方

家庭菜園ではいろいろな種類の野菜を栽培するため、品目あたりの本数が少なくすむ場合が多いので、ご自分で苗を育苗するより購入した方が、種子の無駄や管理の手間が省けて良いと思います。

○苗を選ぶポイント(図参照)

- ①品種がはっきりしている。
- ②双葉が傷まず、しっかり付いている。
- ③軟弱徒長していなく、茎が太く節間が短くガッシリしている。
- ④葉に厚みがあり、適度な葉色のもの。
- ⑤病気や害虫に冒されていないもの。
- ⑥老化苗は避ける。

老化した苗は、活着が遅れ根張りが悪くなります。やや若い苗の方が無難です。

- ⑦根は健全で良く生育したもの。

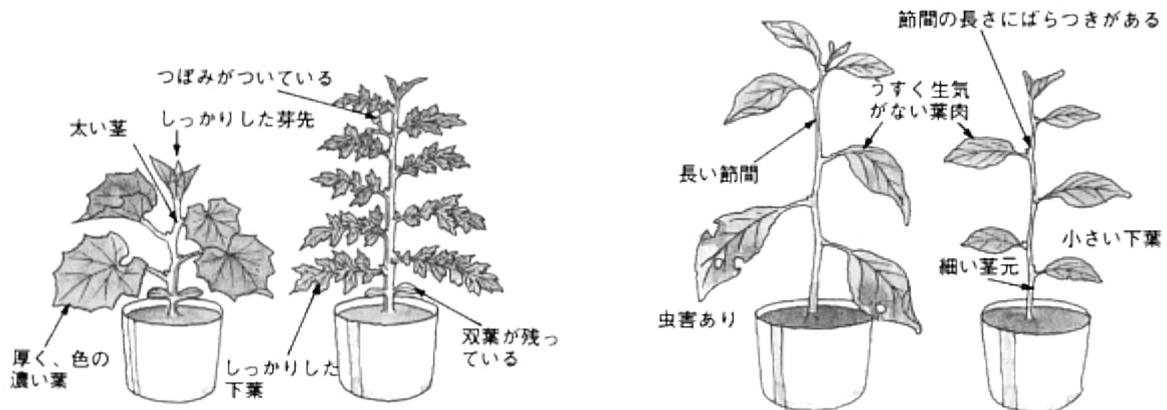
鉢はできるだけ大きく、根鉢ができてないものが良い。

- ⑧スイカ等の果菜類は、接ぎ木苗を利用する。

価格は高いですが、土壌病害に強く生育強健で栽培しやすいので、連作する場合は積極的に利用します。

良い苗

悪い苗



## 2 土づくり

野菜の住処は土です。野菜の生育を促進するには良い土の条件を整えてやらなければなりません。植え付け前に次の3点は必ずおこなってください。

### ○土づくりのポイント

#### ①排水を良くする。

生育の不良や病害の多くは土壌の過湿から起こります。また、根は土壌中の酸素を吸収しながら働いています。長雨や梅雨に備えて排水溝や高畦を設けておきます。

#### ②堆肥や有機質を補給する。

堆肥や有機質を施すと、土壌が団粒化し水持ちや通気が良くなり根の生育が促されます。また、肥料養分の補給と流亡をある程度防ぐことができます。

#### ③土壌酸度の改良(表参照)

野菜は土壌が酸性になると生育が不良になります。pH7が中性です。多くの野菜はpH5.5~6.8の弱酸性から中性で良く生育します。酸性を直すには石灰を施します。一般的に消石灰等を10㎡あたり2kg程度施します。

### 主要作物の好適 pH

作物名	好適 pH	作物名	好適 pH
サツマイモ	5.5~7.0	キャベツ	6.0~7.0
ジャガイモ	5.0~6.5	タマネギ	5.5~7.0
イチゴ	5.0~6.5	キュウリ	5.5~7.0
スイートコーン	5.5~7.5	スイカ	5.5~6.5
カボチャ	5.5~6.5	インゲン	5.5~6.7
サトイモ	5.5~7.0	エンドウ	6.0~7.5
ニンジン	5.5~7.0	ホウレンソウ	6.0~7.5
ダイコン	6.0~7.0	ハクサイ	6.0~6.5
トマト	6.0~7.5	カリフラワー	5.5~7.5
カブ	5.5~6.5	ナス	6.0~6.5

(「農林水産省増進基本指針」による)

大切なことは沢山ありますが、少なくとも以上のポイントがクリアできれば80点以上は間違いありません。豊かな稔りで心身共にリフレッシュしましょう。

[\(戻る\)](#)